

子ども善行表彰 主な授賞の例

年度	善行の内容	対象者
R7	登校途中の道路で転倒していた児童に、「大丈夫か？荷物を持とうか？」と励ましや優しい声をかけた。保護者が到着し、その児童の安全を確認できるまでより治った。	中学生2人
	散歩中の犬が逃走して飼い主が困っていたところに偶然通りかかり、進んで協力を申し出た。飼い主と共に犬を探し、無事に犬を捕獲することができた。自らの安全にも配慮しながら、迅速かつ冷静に行動し地域の安全に貢献した。	中学生4人
	下校中、自転車に乗っていた小学生がこけた場面に遭遇し、「大丈夫？歩いて帰れる？」と気遣った。自宅から消毒液を持って来てけがの手当をし、予備の絆創膏を小学生に渡し、保護者に引き渡した。	中学生5人
	一緒に下校していた児童の、ランリュックが民家駐車場のポールに当たり倒れて折ってしまい困っていたので近くの児童と協力し見守りをしていたスクールガードに助けを求めるなど、連携をして解決に導いた。	小学生5人
	夏休み期間中の会館での「宿題・習字教室」及び「勉強会」で、下級生の取りまとめや遊び・ゲーム等の企画運営を積極的に行った。その行動力とリーダーシップは、参加児童や地域住民に良い影響を与えた。また、野菜の収穫体験では、誕生日を迎えた児童のために手作りの祝いを行うなど、自主的に交流を深める場となるよう工夫し、自治会関係者から感謝された。	小学生2人
R6	帰宅途中にしんどそうに座り込んでいた児童に声をかけた。児童のたくさんの荷物を一緒に帰宅していた5人で手分けをして持ち、学童まで連れて行った。途中、スポーツ飲料を買い、飲ませてあげた。	中学生5人
	図書室の「青少年赤十字のひみつ」を読み、自分にもできることがあると気づき、災害にあった人たちを勇気づけようと考え、折り紙でたくさん作品を作ったり手紙を書いたりした。それらは、守山市社会福祉協議会を通して、日本赤十字石川支部へと送られ、現地の学校へ寄贈された。	小学生1人
	自身の自宅前で転んで出血していた高齢者を発見し、止血を試みた。インターフォンを押し、ご家族に知らせ、状況を見て救急車を要請された。翌日、ご家族は学校を訪れ感謝の気持ちを述べられた。	中学生2人
	買い物先で高齢男性に「(自分のことを)知りませんか？」と問われ、学校で学んだ「認知症サポート講座」を思い出し、「この方は認知症で、場所が分からなくなっているのではないか。」と思った。住所がわかったので家まで送って行った。男性の家族は「(男性が)いなくなり心配していた。」と感謝された。	小学生1人
R5	河川愛護作業やびわこを美しくする運動などの自治会行事に積極的に参加し、まちづくりに貢献した。通学中に交通量の多い交差点を渡る際、低学年の児童への声掛けを的確に行い登校班の安全を守った。	小学生1人
	登校途中に下級生が靴を通学路の横を流れる川に落とした際、3人で相談し協力して、1人が下級生をおんぶし、2人がおんぶをした児童と下級生の荷物(ランドセル等)を手分けして持ち、無事に学校に到着できた。	小学生3人
	毎朝、登校後に運動場のごみ拾いを継続して行った。特に休日明けは、遊具の周りにお菓子の空き袋等のゴミが散乱していることがあり、火ばさみとごみ袋を持ち、運動場の周りを中心に見回った。集めたゴミは分別し、環境美化に大きく貢献した。	小学生4人
R4	下校後、友だちと遊ぶ約束をして、家をでたところ自転車が倒れており、そのそばに横たわってうめいているお年寄りを見つけた。みると、頭部からの流血もあり心配になったため、優しく声をかけ自宅に帰って父親を呼んできた。幸い、その後、救急車が到着し、大事には至らなかった。	小学生1人
	熱中症になり自転車をとめて縁石に座っている高齢男性を、別の男性が救助しようとしていたところ、自転車で通りかかった3人が声をかけ、肩を貸したり、自転車移動を手伝ったりした。また、男性が救助を呼びに行く間に高齢男性に付き添って様子を見るなどした。	中学生3人
	自治会主催の河川愛護美化作業や花の街角づくり運動、琵琶湖湖底ゴミ除去活動、グランドゴルフ大会等に積極的に参加した。また、他の小学生の手本となるような、安全な通学方法を実践している。	小学生1人
	自転車に乗った高齢男性が転倒してぶつかる場面に出会わせた。「大丈夫ですか？」と声をかけ、自動車の運転手の高齢女性と共に警察を待つ間、寄り添った	中学生1人

年度	善行の内容	対象者
R3	小学校1年生からごみ拾いのボランティアを始めた。母親と毎日ごみ拾いを行う取り組みが地域に広がり、現在1～4年生約20人の親子と一緒にボランティアでごみ拾いを続ける活動となっている。現在は、学区内だけでなく、校区外でもごみ拾いを行う活動に広がっている。	小学生1人
	河川清掃に参加し、以後約5年間継続して月1回の清掃活動に参加し環境美化に努めている。河川を訪れる市民へ清掃活動の呼びかけを行い、美化活動への参加者の増員につながった。また同河川の「小さな自然再生」活動にも参加し、ホタルの自生ができるよう調査や整備を行うことができた。	小学生1人
	自治会主催のグラウンドゴルフ大会やサッカー教室などのイベントに参加し、地域活動の活性化に貢献することができた。また、河川愛護美化活動や花の街角づくり運動、ごみ除去活動などの環境保護の取組にも積極的に参加し、自然愛護の気持ちを養うことができた。常日頃から規則を守った行動や礼儀正しい挨拶を実行し、地域小学生の手本となる姿を示すことができています。	中学生1人
R2	地域では清掃活動に毎年参加し積極的に取り組んでいる。大人には敬語での挨拶や対話、年下の子には親切になわ跳びの跳び方や自転車の乗り方を教えることが出来、下級生の良き手本となっている。	小学生 1人
	下校の際、犬の散歩中転倒した地域のご老人に駆け寄り、声をかけ、助け起こし、お互い協力しながら、散らばった荷物を集め、帽子をかぶせたりできた。また「大丈夫ですか」「お大事に」等、労りの言葉をかけることができた。	小学生 4人
	下校中、自転車で走行していたところ、歩道に財布が落ちているのに気付き、「落とした人が困っているだろう」と話し合い、拾って学校に引き返し、下校指導をしていた教員に届けた。	中学生 2人
R1	地域で実施されている子ども食堂に、自主的にボランティアとして参加する。調理等の手伝いや、スタッフとして運営会議へ出席をしている。今年度は、「子ども食堂フェスタ2019」「子ども食堂カレーサミット」へも参加して活躍することができた。	小学生 1人
	下校中、見知らぬおじいさんが自転車でこけて道端の畑で動けなくなっているところに遭遇した。一旦は、おじいさんを畑から救出したが、一度は立ったおじいさんがよろけてこけたため、助けを呼びに学校まで戻り教員に連絡した。	中学生 4人